

おばあちゃんの耳

小 三

わたしのおばあちゃんの右耳は聞こえません。わたしはいつも心配しています。わたしのおばあちゃんの右耳は、わたしが生まれる前から聞こえないそうです。

わたしは、たまにおばあちゃんにこう言っています。

「おばあちゃんの右耳、だいじょうぶ。」
おばあちゃんは、こう答えてくれます。

「左の耳は聞こえているから、だいじょうぶだと思うよ。」

わたしはその言葉を聞くと、とても安心します。

わたしが、小さな声でおばあちゃん

に話しかけると、おばあちゃんは、「なんて言っているの。」と聞いてきます。おばあちゃんに小さな声で話しかけても聞こえないから、私は大きな声で話しかけるようにしています。

わたしは、おばあちゃんの耳が、両方聞こえなくなってしまうたらとても悲しいです。なぜかというところ、おばあちゃんと会話ができなくなってしまうし、わたしの気持ちや話したいことをつたえられなくなってしまうからです。わたしは、おばあちゃんの左耳が聞こえるだけで十分です。これからもおばあちゃんをおうえんしていきたいです。